

事務事業評価表(既存事業)

コード	事務事業名	所管部課					
7-2-2	一時保育・緊急一時保育事業	児童青少年部保育課					
事務事業の概要	事務事業の目的 地域の乳幼児及びその保護者を対象に子育て支援事業を実施する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子育て支援の促進(創2-2) (主要施策)保育園事業の充実					
	実施内容、実施方法 一時保育:保護者会への参加や育児疲れのリフレッシュ等さまざまな理由で家庭での育児が困難になった時(一時保育)、保護者の急な入院等で家庭での保育が困難になった等緊急時に一時的(緊急一時)、子どもを預かる制度。	根拠法令等 西東京市一時保育実施要綱 西東京市緊急一時保育実施要綱					
	事業開始時期	平成 13 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 実施園数(一時保育)	活動指標の考え方(定義) 実施している保育園数(子育て支援を推進し利便性に拡大を図る)					
	実施園数(緊急一時保育)	実施している保育園数(子育て支援を推進し利便性に拡大を図る)					
	成果指標名 年間延べ利用人数(一時保育)	成果指標の考え方(定義) 一時保育制度を利用した年間延べ人数					
	年間延べ利用人数(緊急一時保育)	緊急一時保育制度を利用した年間延べ人数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		8,386	11,906	18,460	23,338	
	国庫支出金	千円					
	都支出金		1,449	2,026	4,189	5,154	
	地方債						
	その他		3,178	4,258	10,611	12,336	
	一般財源		3,759	5,622	3,660	5,848	
	所要人員(B)	人	0.20	0.30	0.60	0.80	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,649	2,482	4,997	6,662	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	10,035	14,388	23,457	30,000	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(利用延べ人数)	千円	7.43	7.57	5.60		
	歳入	千円	4,627	6,284	14,800	17,490	
	活動指標	目標値	園			3	3
		実績値	園	1	2	3	
活動指標	目標値	園			19	19	
	実績値	園	19	19	19		
成果指標	目標値	人			3,700	4,800	
	実績値	人	1,350	1,901	4,190		
成果指標	目標値	人			400	400	
	実績値	人	537	375	420		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	一時保育については予約が満杯で、希望日に利用することが困難なことがあるという声が寄せられている。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	おおむね同様。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	一時保育室設置のため改築等の施設改修が必要である。					

コード 7-2-2	事務事業名 一時保育・緊急一時保育事業	所管部課 児童青少年部保育課
--------------	------------------------	-------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	一時保育実施園の拡大に伴い、利用者数も順調に伸びている。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	利用者数も伸びており、家庭での子育て支援策として更なる実施園の拡大が必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	一時保育及び緊急一時保育の保育現場における人的配置は、嘱託職員及び臨時職員で対応しているため経費については効率的である。今後は保育運営の民間委託の導入によりコストの削減を図って行く。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	情報提供については、市報・市ホームページ等にて周知している。緊急一時保育は全市立保育園で実施しており、一時保育については地域需要を考慮し実施園を拡大することによりサービス提供量を増やし、更に利便性の向上を図る。
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一時保育の実施園拡大に伴い利用者が増えている。今後は地域需要を考慮しながら実施園の拡充を図る。

17年度における改善点	平成17年度は「みどり保育園」建替工事を行うことに伴い一時保育室を設置し平成18年度より一時保育を実施することとしている。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。